

第 39 回九州高等学校ゴルフ選手権春季大会・中学校大会
(兼第 39 回全国高等学校ゴルフ選手権春季大会・中学校大会九州予選)
第 2 回九州中学校ゴルフ選手権 J 3 カップ

2019 年度大分カントリークラブ開催競技は、日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則（2019 年 1 月施行）とこのローカルルールと競技の条件を適用する。これらの追加・変更については各競技に適用される競技規定や注意事項を確認のこと。別途規定されている場合、または適用規則が明示されている場合を除き、ローカルルールまたは競技の条件の違反の罰は：2 打の罰。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
ただし、現にプレーするホールの白杭を結ぶ線を越えて他のコース上の区域に止まった球はアウトオブバウンズの球とみなす。
2. 修理地は青杭を立て白線で囲まれた区域によって定められる。
3. イエローペナルティーエリアは黄杭または黄線、レッドペナルティーエリアは赤杭または赤線によってその縁を定める。
線と杭が併用されている場合は線がその縁を定める。
4. ジェネラルエリアにある排水溝、排水蓋、樹木の支柱およびロープは動かさない障害物とする。
5. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。

競技の条件

1. 委員会の裁定
委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄についてこの委員会の裁定は最終である。
2. クラブと球
 - 5 a) 適合ドライバーヘッドリスト：ローカルルールひな型G-1を適用する。
このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格
 - 5 b) 溝とパンチマークの使用：ローカルルールひな型G-2を適用する。
このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格
 - 5 c) 適合球リスト：ローカルルールひな型G-3を適用する。
このローカルルールの違反の罰：失格
注：適合クラブと球の更新されたリストはwww.randa.orgで閲覧できる。
3. 規則 5. 5 b は次のように修正される
2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。
 - ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、
 - ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。
4. 規則 5. 2 b は次のように修正される
プレーヤーはラウンド前やラウンドとラウンドの間にコース上で練習してはならない。
5. プレーの中断と再開
 - (1) プレーの中断については、5. 7 に従って処置すること。
 - (2) 険悪な気象状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。
クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。
その要請に従わなかった場合、参加を取り消す場合がある。
 - (3) プレーの中断と再開の合図について
通常の即時中断：1 回の長いサイレン（30 秒）
険悪な気象状況による即時中断：連続する 3 回のサイレン（繰り返し）（3 秒）
プレーの再開：2 回にサイレン（繰り返し）（10 秒）
6. 移動
動力付き移動機器の使用禁止：ローカルルールひな型G-6を適用する。
ただし、委員会が認めた場合と、コース内のスロープコンベアの使用は認める。
7. キャディー
規則 10. 3 a は次のように修正される。プレーヤーはラウンド中に委員会によって指定された者以外をキャディーとして使ってはならない。このローカルルールの違反の罰：「ローカルルールのひな型H-1. 2」を適用する。

8. 競技の短縮
委員会は、コースの状態が適正なるプレー不可能と判断したときは、競技規定に定めてあるホール数を短縮することができる
9. スコアカードの提出
プレーヤーのスコアカードはレコーディングオフィス/エリアからプレーヤーが離れた（両足が出た）ときに正式に委員会に提出されたことになる。
10. タイの決定
タイの決定方法は、関連するエントリーフォームに規定されるか、競技当日ゴルフコースで公表される。
11. 競技終了時点
決勝競技では競技委員長の成績発表がなされた時点、予選競技においては競技委員会の作成した順位表が掲示された時点をもって競技は終了したものとみなす。

注 意 事 項

1. 従来の予備グリーンは目的外グリーンである。(規則13.1f参照)
2. ローカルルールや競技の条件に追加、変更があるときは、スターティンググラウンド付近に掲示して告示する。
3. パッティンググリーン保護のため、メタルスパイクシューズおよびタウン用シューズの使用を禁止する
4. 練習は指定練習場にて行い、打放し練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習では球数には制限がある。球数は別途告示する。
5. 9ホール終了後、プレーを遅らせなければクラブハウスに立ち入ることができる。
6. スタートの呼出は一切行わないので、スタート15分前までにはスターティングホールに待機すること。
7. 競技前日の練習は、アウト、インともスタートを14時で打ち切る。
8. 委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
9. 委員会はすべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とすることができる。

ローカルルールと競技の条件に次のことを追加する。

1. ホール間の移動のみプレーヤーは動力付きの移動機器に乗車することができる。
2. 順位の決定はマッチングスコアカード方式による。
3. 練習場での球数は、一人24球とする。
4. 使用ティーマークは、男子は黄色、女子は白色を使用する。
5. ギャラリーはクラブハウス周辺のみ入場可。
6. バンカー内で水が流れたことによって砂が取り除かれ、砂を通り抜ける深い流水跡となった区域は修理地である。

競技委員長 桑原慶吾